

# グルマリー・チッドヴィラーサーナンダについての熟考

## チャンティングというかけがえのない贈り物

ボジェナ・パルムクイスト

1996 年、グルマリーがマハー・ヤートラの一環でポーランドを訪れると聞いた時、私は驚くと共にとても幸せな気持ちになりました。グルマリーのマハー・ヤートラ——偉大な巡礼——は、世界のさまざまな場所を訪れる7カ月に及ぶ巡礼でした。私はシッダ・ヨーガの道を歩み始めて1年と少したっていて、ポーランドに住む私たちシッダ・ヨーギにもたらされる幸運に驚き畏怖を感じました。そして、グルマリーの訪問に向けて準備のセーヴァーをささげるチームにすぐに参加することにしました。グルマリーが到着したその日、私はウッチにいました。ツアーマネジャーは私たちに、「シュリー・グル・ギーター」の朗唱のために、翌日にもグルマリーはホールを訪れるかもしれないと話しました。翌日の朝は曇りで寒い朝でしたが、グルマリーがホールに入ってきた時、まるで、明るい太陽が光と暖かさで世界を照らしているかのようでした。

「シュリー・グル・ギーター」の朗唱が始まると、私は子どものように興奮して、マインドがいつになく落ち着かなくなりました。しかし、神聖な詩句を朗唱するグルマリーの深くはつきりとした声に集中すると、私のマインドはすぐに落ち着きを取り戻し、そして、心地よい陶酔感の静かな波を体験しました。

ポーランド滞在中、グルマリーは「シュリー・グル・ギーター」を毎日サンガムと共に朗唱しました。ロシア、リトアニア、クロアチアから、そして、やがては世界中から、シッダ・ヨーギや新しい探究者たちがやって来るようになり、私たちは、セントラルホテルから、もっと広々として美しいヴィエルキオペラハウスに移動することになりました。

ある日、私は「シュリー・グル・ギター」の朗唱をリードするグループに入るように言われました。私はステージの上で、グルマーイのすぐ近くに座りました。教典の朗唱の後、「シュリー・クリシュナ・ゴーヴィンダ・ハレー・ムラーレー」のチャンティングの最中、私は、幸せと愛にあふれた強く活気に満ちたエネルギーに気づきました。そのエネルギーはグルマーイから放出され、チャンティングの音に乗って伝わっているようでした。私のマインドは静かになり、そして心が開いたように感じました。周りを見渡してみると、あらゆる人に対して、そしてあらゆるものに対して無条件の愛を感じ、そしてこの体験は、グルマーイの恩恵、そして、チャンティングそれ自体の力によってもたらされたものだとわかりました。

ツアーが終わり、グルマーイがポーランドを離れた後、私は自分の家のあるポズナンに戻りました。私は家でよく自分だけでサツァングを行いました。シッダ・ヨーガのマントラや、「シュリー・グル・ギター」、ナーマサンキールタナの CD と共にチャンティングするのです。その時はいつでも、私はウッチでのグルマーイを心に思い描きました。グルマーイの声に自分の声を合わせ、私の内側でグルマーイの声が深く共鳴するのに身を任せます。そして、私の声をグルマーイの声に溶け合うようにします。そのような時、素晴らしいことが起こるのです。私の身体の内側でシャクティが湧き上がり踊っているのを感じることができました。何か心配事や不安なことがあれば、それは消えていきました。喜びの波が私の存在全体を駆け巡りました。チャンティングする時に私の内側で湧き起こる愛と至福は、自分自身の大いなる自己の甘露であり、クンダリーニー・シャクティの喜びなのだと気づきました。

グルマーイがポーランドを訪れてから 20 年がたつ中で、私の外側の環境に多くの変化が起きました。かつて自分一人でサツァングを行っていた状況から、自宅でシッダ・ヨーガ瞑想とチャンティングのグループを主催するようになりました。また、さらには、ポーランド各地や ヨー

ロッパのさまざまな場所で行われたシッダ・ヨーガの教えと学びのイベントにも参加しました。そして米国出身のシッダ・ヨーギと結婚し、オレゴンに移住しました。

これらすべての変化を通して、私はチャンティングへの私の愛を持ち続けてきました。CD と共に一人でチャンティングする時も、他の人たちとチャンティングする時も、私はチャンティングについてのグルマーイの教えを実践します。姿勢、集中、聴くこと、そして、私の声を調和させること。そうすることで、私の内側の至福がまた湧き上がり、ポーランドでグルマーイと共にいた時に初めて感じた愛をまた、感じるのです。

今、私は日常生活を送りながら、チャンティングの間に体験するマインドと心の状態を思い起こすと、あらゆることが恩恵と共に流れます。時々、こんなふうに聞かれることがあります。人生に起こったこれらのすべての変化をどうやって切り抜けることができたのか——別の国に住み、家族からも遠く離れて、見知らぬ社会の中で自分の場所を見つけるなんて。私は笑顔で考えます。「チャンティングというとてもシンプルな実践を通して、私自身の大いなる自己、私自身の心の中にある愛を体験できる時に、どうして寂しいとか離れているとか感じるができるでしょうか」。私は一度も孤独だと感じたことはありません。そして、このように答えるのです。「私はチャンティングを続けています。チャンティングが私の人生を変えたのです。チャンティングは私を愛と至福で満たし、安らぎをもたらしてくれるのです」。心の内側で、グルマーイがシッダ・ヨーガの伝統の中で守り、また、新しく紹介してきた数々の力強いチャンティング、チャンティングについての彼女の教え、そして何より、彼女の恩恵、これらのことへの感謝の気持ちで、私は頭を下げるのです。